

# この人に インタビュー

INTERVIEW



株式会社 隅谷  
取締役相談役

**隅谷 千里 氏**

代表取締役社長

**隅谷 建壬 氏**

## プロフィール

**隅谷 千里 氏**

生年月日 大正 15 年 8 月 21 日

血液型 A 型

**隅谷 建壬 氏**

生年月日 昭和 28 年 11 月 25 日

血液型 A 型

家 族 建壬氏ご夫妻、孫娘 2  
人と同居

株式会社 隅谷

本 社 〒507-0901 多治見市笠原町156-2  
TEL 0572-44-2255  
FAX 0572-44-1112

インタビュー

広報委員長 尾濃化工工業(株) 尾崎 禎泰  
広報副委員長 (有)マツイデンキ 松井 啓至  
広 報 委 員 (株)東文堂本店 木野村 匡

尾崎：あけましておめでとうございます。本日は、株式会社隅谷の相談役 隅谷千里さん、社長の隅谷建壬さんにインタビューさせていただきます。よろしくお願いいたします。

隅谷：こちらこそよろしくお願いいたします。

尾崎：まず、御社の概要について教えてください。タイル製造メーカー、年商、従業員数など。創業何年ですか。

隅谷：明治 22 年の創業ですから今年で 120 年、私は 4 代目になります。笠原の特産品であるごはん茶碗を製造してきましたが、昭和 32 年から陶磁器製のタイル製造に転換し、昭和 43 年には本社工場を現在地に移し、生産をここに集中しています。

原料・メーカー・商社の三業種の協力は  
三本の矢の結束

尾崎：歴史ある会社ですね。企業方針、経営戦略をお聞かせ下さい。

隅谷：タイル産業は、原料の<sup>はいど</sup>坯土メーカー・タイル製造メーカー・商社というそれぞれの業態に分業がすすんでおり、原料は坯土メーカーに、売る方は商社にお任せして、弊社はタイルの製造に専念しています。互いに協力、協調しながら地場産業の発展に貢献したいと考えています。

木野村：原料は海外から買われていますか。

**隅谷：**いいえ、タイル原料は基本的に国内産で対応できますから。

**相談役：**毛利元就の三本の矢ではないですが、原料・メーカー・商社の三つが協力してやっています。弊社は製造だけですので、原料を仕入れなければ明日からタイルが焼けないわけです。売る方も多治見、笠原に13社の特約店があって、これらの方々が全国各地に売ってくれるわけです。原料から製造、販売、全てを1社でこなす一環メーカーは今はないですね。

**尾崎：**商品のシェアは、建築用のタイルが100%ですか。

**隅谷：**そうですね。建築用の床タイルとか外壁タイルです。

**松井：**品質ももちろんですが、デザインの良し悪しでもヒットしたりしますよね。

**隅谷：**以前はモザイクタイルといって、小さいタイルを組み合わせていろいろな形状や色の組み合わせをデザインしたりしていましたが、手が掛かるということで減ってきて、今は四角形や長方形の大型タイルに変わってきています。生産効率が重視されたのですが、地場の中にはそれではいけないと、また小さなタイルをつくり始めているところも出てきています。

**松井：**陶器のように、海外から入ってくるということはないですか？特に中国とか。

**隅谷：**普及品といいますか、値打ちなものは中国からたくさん入ってきていますよ。

**尾崎：**笠原には非常に軽いタイルがあるとききました。

**隅谷：**軽量タイルもそうですが、CTタイル（汚れが付きにくいタイル）とか、クールアイランドタイル（光を反射するタイル）など、環境にやさしい、時代の要求に対応した新しい機能を持った製品の開発も進んでおり、弊社でも手掛けています。

## 地域の活性化は景気の回復

**尾崎：**地域とのかかわりについて伺います。創業120年ですのでたいへん深いと思います。その辺をお聞かせ下さい。

**隅谷：**地場産業にかかわっているもので、常に地域密着型といいますか、昔からのつながりを大切にしています。笠原陶磁器工業組合の組合員として地場産業の振興事業を展開したり、クールアイランドタイルの普及についても組合員の中の有志で協調して推進しています。

**尾崎：**地域の活性化についてはどうですか？

**隅谷：**なかなかむずかしいことですね。やっぱり景気が回復することが一番ですね。笠原の中ではタイル業界が活気を帯びてくると、他に波及していろいろな会社もうるおうということなので、地域の活性化にはやはり景気の回復が必要ですね。

**松井：**建設業界も景気が悪いですが、タイルを使った建築というもののウエイトはどうなんですか。

**隅谷：**昔は1軒の家の中に、タイルを使うところが多かったですね。台所、風呂、玄関先、トイレなどですね。それが今では玄関まわりに使うくらいで、一般住宅に使われることがほとんどなくなりました。

**尾崎：**うちもタイルを使いましたが、なかなかいいですよ。

**隅谷：**外壁にタイルを施工した場合の雰囲気というか、価値観はあると思いますよ。でも、タイル自体は比較的安価なのですが、工賃というか、貼る手間というのがかかるんですね。

**尾崎：**一枚一枚貼るんですか。

**隅谷：**いいえ、大抵は約30cm角にセットしたものを貼っていきます。

**松井：**公共施設の外壁はタイルが多いですね。一般住宅に使われなくなった分こうした公共施設に使われているようですが、これ自体の建築も減ってきているということですね。

**尾崎：**公共施設を造るときはタイルを使うように、上手に市に働きかけるなどするといいですね。

**隅谷：**多治見市長も「私はタイルの営業マンだ」と、いろいろな所でタイルの良さをアピールしてくれています。



**木野村：**今度できた多治見駅はタイルが貼ってありますよね。

**隅谷：**多治見駅や県病院、税務署などでもタイルを使っています。改築が決まった市民病院でも使ってもらえるようです。

**相談役：**我が社も悪い悪いと言いながらも、一時に比べれば引き合いや注文が入りつつありますし、笠原全体も少しづつ良くなっていると思います。先日の新聞に、東京の方で超高級マンションが建ち始めているという、いいニュースが載ってました。タイルを使わなくなったといっても、タイル以上にきれいに見えて安価なものがあるかと言えば、ないので。ペンキではとても代用できないですね。だから期待は持てると思います。商社の方に聞いてみますと、まずまず注文がはいっているとのことですので、笠原のタイルにも少し光が射してきたんじゃないかと思っています。小さな店舗ですが東京のあるお店が、笠原のデザインタイルを使ってリフォームしたのですが、見るとどこにも負けない焼き物のいい面が出ていますよ。

タイル業界には底力があると思っているので、これならある程度やっていけるかな、という見方をしています。

**尾崎：**タイルの良さっていうのがあるので、今後商社と一緒に販売戦略を進めていかれたらいいんじゃないかと思っています。タイルを貼った建築物は、たしかに夏涼しく冬暖かいという利点がありますよね。その点をアピールしていったらいいんじゃないでしょうか。それと貼る手間のコストが高いので、何とか安く貼れる方法を考えて、お互いに智恵を出したら、まだまだタイルは売れると思いますよ。

**隅谷：**外壁に使用したタイルの剥離といった新しい課題もあるのですが、接着剤などは高品質なものが開発されてきていますので、その面でもかなり希望

は持っています。

**尾崎：**政権交代がありました、何か変わってきましたか。

**隅谷：**若干変わってきたような気がしますが…。新しい政権になって少しは良くなればと期待しています。それと、日本建築にもどんどんタイルが使用されるようになればいいですね。

**尾崎：**会社名をかえられたようですが、何か理由はありますか。

**隅谷：**製陶所のイメージを新しくしたい、という思いで、平成14年に(株)隅谷に変えました。社名で業種がある程度わかった方が良いのかもしれませんが、今は横文字とかが多く、何をやっているのかわからない会社が多いですね。

### 花あり、友あり、心あり、そして健康で!!

**尾崎：**工場緑化表彰歴というのを拝見しましたが、すごいですね。全国工場緑化推進大会にて通産大臣賞、工場緑化推進功労者、最優秀内閣総理大臣賞受賞など、数えきれない賞を受賞してみえますね。庭園企業のさきがけですね。どういう想いで始められたのでしょうか？

**相談役：**30年前から桜、桃とかきれいな花の咲く木を中心に植えてきましたが、大きくなりすぎて困っています。落ち葉の片付けも大変です。そこで3年前から、チューリップ、水仙などの球根を植え、花を中心に緑化ということを考えています。なばなの里や富山の砺波チューリップ公園などを見に行っ参考にしてます。

**尾崎：**手入れや管理が大変ですね。あとでは是非お庭を拝見させて下さい。



**松井：**最近、何かチャレンジされていることなどありますか。

**相談役：**昔カラオケ店をつくりましたが、それを今度移築して従業員にモーニングコーヒーを出す店に作り替えようと思っています。僕の趣味としてやっています。今度お見えになったら、そこでコーヒーをご馳走しますよ。景気が悪い時こそ、従業員を大切にしないとダメですね。なんでも不景気にかこつけて手間を省くことのないように、皆でがんばってもらわないと。景気の悪い時に従業員に水臭くすると、景気が良かった時見向きもされなくなる。心ある労使関係であってほしいですね。わかっているもなかなかできないのが現状ですね。

**木野村：**趣味や健康法についてお伺いします。

**相談役：**二人ともゴルフですね、週一回くらいやります。昨年8月に社長がホールインワンをやりまして、商社や原料メーカーの方々が連日のように詰めさせていただき、ホールインワン・コンペの打ち合わせをしてもらうなどお世話になりました。おかげで、無事すませることができましたが、外から見ていて、非常に仲良くやっているのいいと思いますね。それに僕は酒ですね。脳に良いというのでこの頃はワインばかり飲んでます。下手だけど唄も歌います。皆さんに言いたいのは、暴飲暴食はだめということと、健康診断を受けてほしいということです。実は家内が去年の春に亡くなりましたので、そのことをすごく考えます。亡くなってから「もっと大事にすればよかった」と思います



ので、皆さんは十分留意して下さい。何より健康が大事ですね。

**松井：**相談役さんは何歳ですか？

**相談役：**今年で85歳になります。朝5時頃から体操をし、会社に出てきて「今日はああしようこうしよう」といろいろ考えます。今までいろいろな人とめぐり合い、お世話になってきました。昔九州から来ていた従業員が、家内が亡くなったのを知ってお供えを持ってきてくれたりしたので、年末に長崎で食事会をしてきました。45人くらい集まってくれました。なつかしい話も出て、大変楽しい時間を過ごせました。85歳にもなると、友達がだんだん減って行って寂しいですね。人と人とのつながり、友達を大事にして楽しい人生を送りたいですね。「花あり、友あり、心あり」これが私の信条です。

**尾崎：**本日はいいお話を伺いました。ありがとうございました。

